CASE 08｜トイレトレーニング・靴履き・身辺自立

オムツがなかなか外れない・トイレを怖がる・靴の左右が難しい

失敗を責めず、定時誘導と「目で見てわかる視覚マーク」で「自分でできた！」を積み重ねます



お子さまにこんな「困りごと・サイン」はありませんか？

- トイレに誘っても「いかない！」と嫌がり、便座に座るのを怖がる
- おしっこが出たことを教えられず、オムツ卒業のきっかけがつかめない
- 靴を左右逆に履いてしまい、手洗いや着替えの手順が定着しない

DEVELOPMENTAL SCIENCE｜発達科学からの視点
トイレ空間の安心感と「見てわかる手順マーク」で進みます

トイトレが進まないのは膀胱機能の成熟途上や「狭い空間・水流音への不安」「手順が見えない不安」が原因です。靴の左右や手洗いも、言葉の注意より視覚マークで示す方が一目で理解できます。

お子さまのステップに合わせた「2つの支援ルート」

一人ひとりのペースに合わせて段階的に進めます

■ A:トイレ空間や便座に座るのを怖がる時

「ご褒美シールを貼ったらトイレを見に行こう！」と楽しみを作り、出なくても『便座に座れたらハイタッチ！』から安心感を育てます。

■ B:靴の左右間違いや手洗い手順が抜ける時

玄関に『左右の足型合わせマーク』、洗面所やトイレに『手順イラストカード』を掲示し、自分の目で見て確認できる環境を整えます。

▼ どちらのタイプも、以下の「4ステップ療育サイクル」で無理なく力を伸ばします ▼

01 つまずき



空間不安と手順不明

感覚の未熟さや見通し不足から、トイレや着脱に抵抗感が生まれています。

02 定時誘導



節目の声かけで便座へ

来所時・昼食後・おやつ前の節目に明るく誘い、座れたことを褒めます。

03 視覚マーク



手順表と足型マーク

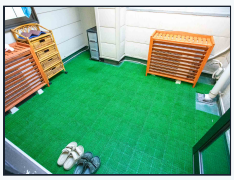
トイレ手順表や下駄箱の足型マークを使い、目で見て自分で揃えます。

04 育つ姿



オムツ卒業と身辺自立

自分から「トイレ行く！」と伝えられ、靴履き・手洗いが一人でできます。



実践① 清潔なトイレでの段階的トイトレ
ご家庭・園と歩調を合わせた排泄支援

失敗しても一切責めず、「トイレに行けた」「便座に座れた」を一つずつ認めながら、ご家庭・保育園と排泄間隔を共有して進めます。



実践② 靴の着脱・左右揃え＆手洗い習慣
「自分で靴を脱いで揃える」習慣定着

靴の左右も視覚マークで楽しく確認し、シール貼り・荷物整理・手洗いまで園や小学校と同じ生活動線を毎日練習します。

◆ おうち・園でできる「1分関わりヒント」

靴の中敷きに『左右を並べると1つの絵になるシール』を貼るか玄関に足型シールを貼っておくと、「逆だよ！」と注意しなくても自分からゲーム感覚で揃えます。

◆ ご家庭・保育園・幼稚園と連携する「2つの通い方」

①【1日コース】10:00～16:00(温かい昼食・お昼寝対応)
②【園送迎並行コース】保育園・幼稚園へのお迎え送迎対応(片道30分圏内)。

ご相談窓口(平日 10:00～16:00)
058-372-6123
受給者証の申請前でもご相談可

所在地 〒504-0966 各務原市那加本町36 マナベビル3F(JR那加駅 徒歩2分)
対象 2歳～未就学児(小学校入学前)｜送迎・昼食 あり｜4言語 日・英・葡・西
メール contact@ibirite.info ｜ Web ibirite.info/児童発達支援/

LINE相談